



みなさんこんにちは！福島県福島市のわたり病院でございま～す！今月からちょっとデザイン変わってるから気に入ってもらえたらうれしいわ～！

さて、このユルい文章を書いているのは2月9日、第109回医師国家試験の最終日なんでございま～す！6年生のみなさん、お疲れ様でした！当然ながら難しい問題や英語力を試される問題も出たみたいだけどそれはそれ、今はゆっくり休んでちょうだ～い！

それでは昨年同様、ツイッターで拾った「ほんとに医師国試に出た変化球な1問 2015」をお送りしま～す！答えは皆さんでさがしてちょうだ～い！うふふふ～！

E-38 再生可能なエネルギー源はどれか。3つ選べ。

a 風力 b 火力 c 地熱 d 原子力 e バイオマス

地域の方々を模擬患者に医療面接



患者さんの病状や思いを聞き取り、医師として適切な対応ができるのかー SP (Simulated Patient 模擬患者) の方を相手にしたトレーニングを当院の初期研修でも行っています。1月末日に、当院の研修医が医療面接を行いました。

4年生はOSCE、5年生はアドバンストOSCEでご存知だと思います。福島県立医大には模擬患者の会もありますよね。

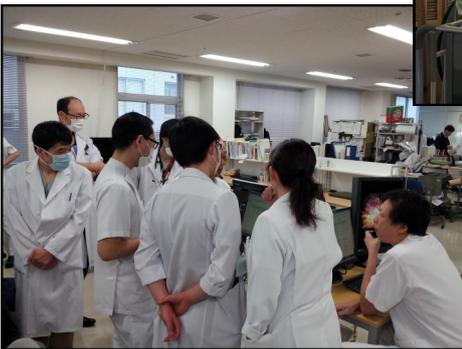
当院のSPIは、模擬患者としての講習を受けた医療生協の組合員さん。地域住民の方がこうして協力してくださるのは、生協病院ならではの特徴です。

【※】医療生協

わたり病院は医療生協の病院です。生協の組合員さんが病院を利用するだけでなく、保健活動やボランティアなど様々な形で活動しています。上記のような形で医師研修にも一役買っていていただきます。



1月を振り返って…



いやーそれにしても1月も大変でしたね(遠い目)。

1年目の国井先生は外科・麻酔科の研修を終え、2月から救急の研修で他施設に行っています。元気ですかー？2年目の山内先生は1月から引き続き小児科の研修中+内科学会での発表も控えて多忙そうです！

あとピックとして、JCEPという研修病院の第3者評価機構による受審があって研修担当の人テンパってました。あんまりこういうこと書くとよくないですね。

さあとにかく4月から研修医5人体制だ！さらに大変！頭痛！

奨学金制度のご案内

医学部では学べない医師としての学び。全国の医学生との交流は卒業後も！

福島県民医連

検索

医療生協わたり病院が加盟している福島県民主医療機関連合会(福島県民医連)では、返還免除制度のある**月額15万円の奨学金を貸与**しています。更に返還義務のある特別貸与制度として、1万円単位で最高月額10万円までの制度もあります。返還免除制度は当連合会加盟院所・事業所にて医師として貸与期間と同期間勤務すれば免除されます。

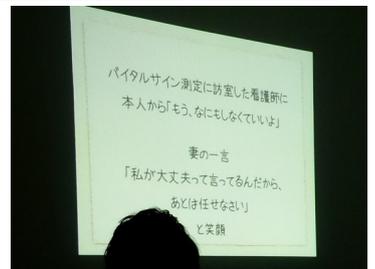
奨学生の義務として奨学生活動への参加があります。全国から300人を超える医学生が集まり医療と医師研修を考える「医学生のつどい」や県単位で行う奨学生活動などがあり、医学生としての“学び”により深みが出ます。特に医学生のつどいは30年以上続いており、そこで語り合った仲間はかけがえないもの。卒後、医師になってからも連絡を取り合ったりしている先生も多いようですよ！

【医学生のつどいテーマ例】

2014年：地域医療について

2013年：終末期医療について

2012年：原発問題



医療生協わたり病院
医学生通信

igakusei@watari-hp.jp

PEACE!

No.23 FEBRUARY 2015

〒960-8141

福島県福島市渡利字中江町34
医療生協わたり病院 医学生担当

Tel.024-521-2056

わたり病院

検索